板野郡５町広域連携

命と生活をつなぐ、電源共助コミュニティの構築



医療機器を必要とする方々の「電源喪失」は
一刻を争う事態です。民間・医療・行政が一体となり、
地域全体で支える仕組みを構築します。

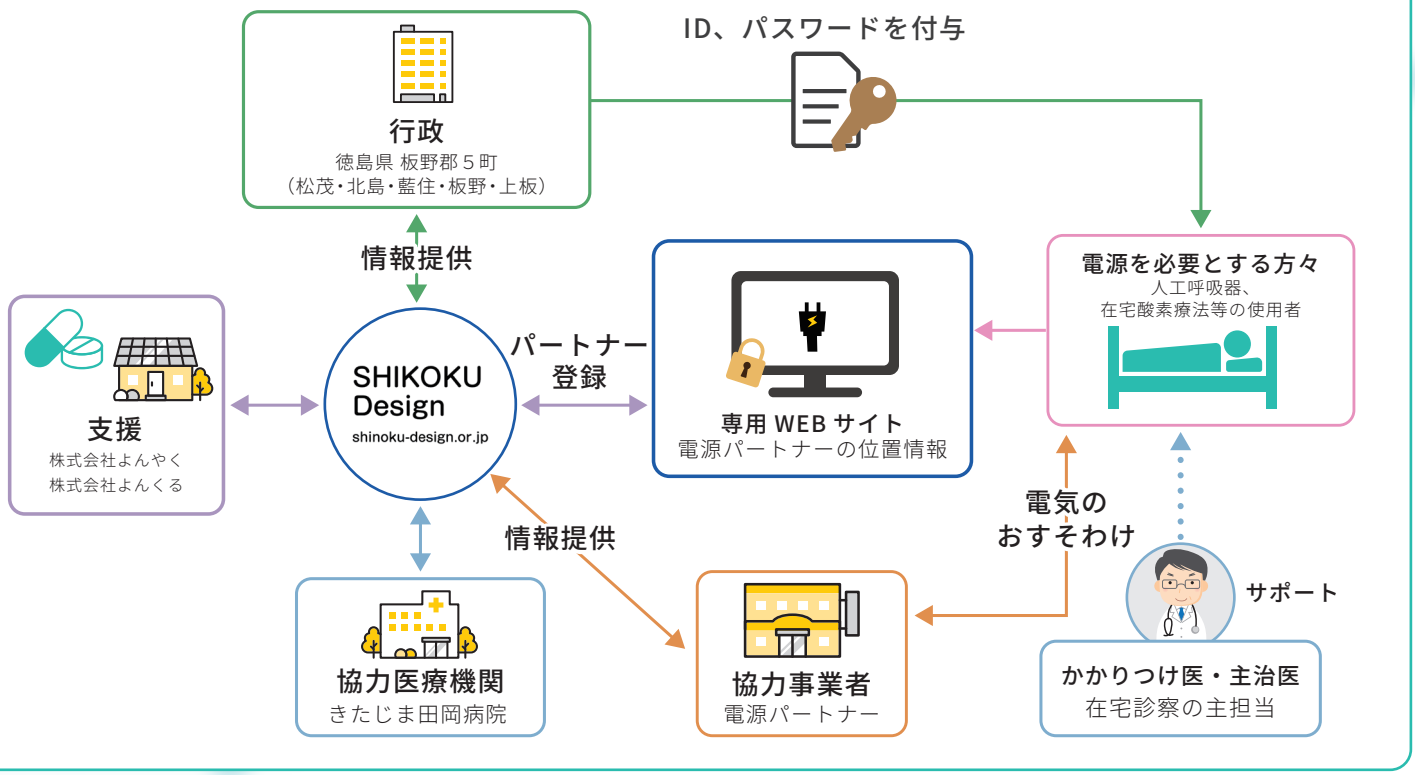
板野郡から全国へ広げる成功モデルに

事業の背景と目的

大規模災害による停電時、自宅等で人工呼吸器や在宅酸素療法等の医療機器を使用している方々にとって、電源の確保は生命維持に直結する最優先課題です。

本事業は、独立行政法人福祉医療機構（WAM）の助成を受け、板野郡５町（松茂・北島・藍住・板野・上板）において、有事の際に迅速かつ確実に電源を届けるための「電源共助コミュニティ」を構築することを目的としています。

地域全体で支える「電源共助コミュニティ」の実施体制



協力事業者（電源パートナー）の位置情報を専用 Web サイト上にプロットし管理します。このサイトへのアクセスに必要な「ID・パスワード」は、各町役場から電源を必要とされる方々へ直接厳重に送付される仕組みとなっており、確実かつ安全な「電源のシェア（おすそ分け）」を実現します。

本事業は令和 8 年度独立行政法人福祉医療機構（WAM）
助成事業として実施されています。

電源パートナーの募集

災害時、貴社のリソース（設備・車両など）が、誰かの命をつなぐことになります。現在、本事業の趣旨に賛同し、協力いただける地域事業者を募っています。



※ご協力いただいた企業様は「電源パートナー」として WEB 上などで広く周知させていただきます。

電力シェア（おすそ分け）

災害時に、自社の自家発電設備などから、ポータブル電源や医療用バッテリーの「充電」という形でおすそ分けを頂きます。



【事例：HONDA Cars 徳島中央（株式会社ホンダ北徳島）さま】

藍住町の店舗にある展示車・試乗車を、災害時には「地域の命を守る充電スポット（おすそ分け電源）」として開放いただきます。さらに本事業の理念に共感いただき、有事の機動力を確保するための EV 車を「無償貸与」という形でご提供いただきました。地域に根ざしたディーラーが、有事には「街の動くエネルギー拠点」へと姿を変え、在宅で療養されている方々の命をつなぎます。



一般社団法人 SHIKOKU Design からのメッセージ

板野郡を、災害に強い地域医療の「全国モデル」に。
私たちが構築するのは、大規模停電から「命」を守る新たな防災インフラです。
行政の枠を超え、地元企業の皆様による「電気のおすそ分け」という善意が加われば、この地域は日本一安全な場所になれます。ここ板野郡から、全国へ誇れる官民連携の成功モデルを共に創り上げましょう。皆様の参画を心よりお待ちしております。

一般社団法人 SHIKOKU Design　副代表理事
徳島大学名誉教授　白山靖彦

【お問い合わせ先】　一般社団法人 SHIKOKU Design（シコクデザイン）
〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字中須 4 番地 2（株式会社よんくる内）
088-679-1899　office@shikoku-design.or.jp



本事業は令和 8 年度独立行政法人福祉医療機構（WAM）
助成事業として実施されています。